



十月の青空の下、庭には

コスモスの花が咲いています



神戸から大阪支店へ

神戸はとても棲家としては住みやすいところで、特に六甲の麓で夏は涼しくて当時はエアコンなどない時代ですので、窓を開けていれば涼しい風が吹き込んで来てお袋も神戸の生活を楽しんでいたようです。私27歳になっていましたが彼女は出来ず真面目な生活を？送っていました。それがまた転勤でその頃はお袋も慣れたもので筆筒などは紙で出来ているような軽いものを買っていつでも引越しの出来るように用意万端でした。

大阪支店に出勤して支店長に面談した時はすでに私の新しい職場は大阪支店第一営業課課長ということでした。大阪支店に

は営業は一課しかありません。管轄は大阪市内、奈良県が担当で売上は一番大きな部署でした。入社して一年半で営業課として一番のところに座ったわけですが、あまり速すぎて実感が湧きませんでした。大阪市内に10店舗、奈良県に5店舗の代理店があり、一課の営業マンは12名が私の下に入りました。女性はいません、男ばかり（色気のない）。事務は管理課の女性がしますので、一課としての事務員はいません。少しつまらないなあと不遜なことを考え一課長としての仕事を始めました。

が料理好きで「黒門市場」と聞いて大喜び。新鮮な食材が手に入るのですが、当時は料理人のプロたちが買い物するところとして高いのです。私の給料ではスーパーで買い物がやつとですのに、いつもお袋は「黒門市場」で買い物、それも豪勢に買うので、我が家の家計はいつも給料日5日前にはお金がなくなるという羽目になっていました。

お袋は料理が得意で料理をしている時が生き甲斐だと言っています。味はプロ並みですので私はいつも料理店で食べているようなものでした。これは幸せな事ですが時には不幸な事にもなります。それは後々私が結婚してのことですが奥さんの作る料理が不味く感じるのです。お袋のおかげで舌が肥えてしまっただけの料理では満足出来ないようになってしまし、それはそれで不

幸なことなのでね。私生活はそうして過ぎていきましたが、会社はとも忙しく朝は8時には出勤し自分の机や部下の机を掃除します。これは東京にいた時からそうしてましたので、私のルーティンです。支店には女子社員は販売促進課に係長が35歳位の方と教員免許を持った23歳位の女子社員が6名いましたが、あとは管理課に一人女子社員が居るだけです。後にこの人達と関わりが出来るのですが、それは後のことその時は私には関係のない人達でした。

しかし仕事が忙しいと言っても27歳結婚歴のある私にはお袋との二人だけの生活は少し寂しい気もして居ました。一課での仕事はいかに管轄の代理店の売り上げを伸ばしていくかと言うことです。前年比150%を望まれていますので、私は毎日代

理店に訪問し夜9時、10時まで仕事をしていました。伸び盛りの会社、商品ですので営業マンも頑張っています、よく売れていました。私は大阪市内に2店舗、奈良に1店舗代理店を半年の内に作り上げていたので、一課としての売り上げは前年比200%を達成していましたが、6ヶ月があつという間に過ぎた頃、又転勤と言われました。

今度は空席になっていった販売促進課の課長と言う事です。販売促進課は女性ばかりで、支店全体の代理店すなわち、大阪、神戸、京都、高松、愛媛、堺、各営業所全ての代理店の販売促進をする部署です。係長以下全員女性です。私以下全員女性、なんでそこを強調するかと言うと、仕事以外で私にとっては危ないなあと言う感覚がありましたので、心締めて今まで以上に仕事に専念しな

ければと決心していました。自信は無いのですが28歳になっていた私にとって23、4歳の綺麗な女子社員は眩しくて仕事にならないのではと、いやそれではいけないと心を引き締めて販売促進課の課長に収まりました。今までが男社会でしたので女子社員の扱いには自信がありませんでしたが、係長がなかなかの人で彼女に頼る事にしました。彼女は支店長のお目見えも良かったので、彼女を通して女子社員と接する事にしました。

さて、販売促進課は支店の全部の代理店を管轄します。私にとっては大きな仕事です。知らない代理店が多く四国などまるで知りません。しかしそんなことは言ってもらえませんので、まずは、机の上で係長から色々な問題があり、それをどのように解決するか？これは各営業所長とも打ち合わせしながら進めていかなければなりません。問題を洗い出し解決策を練って行きました。当然全ての代理店に挨拶のため訪問しなければなら

ず、益々忙しい日々が待っていました。代理店の社長さんが支店に来られると夜の接待を支店長と販売促進課課長が行う事になっているようで、毎晩のように南に出かける日々が続いていました。私はお酒はあまり飲める口では無いので、接待は苦行でしたが、仕事ですから飲んだふりしてお客さんに沢山飲んでもらいました。クラブでの接待です。私には当時月100万円程の接待費が渡されていきました。クラブの女性と長く通うと仲良くなってしまうのですが、南のクラブはどんな所でどんな女性がいるのか、私も南のクラブの女性となんらかは関係になるのか、ならないのかは(支店長は彼女が既にできて居た様で)

次回に……

籠谷 弘

森山 勝 油絵の世界



霊峰富士
西湖の日の出

棚田霧情

新潟県山古志村の冬



緑陰の湿地

長野県居谷里湿原の初夏



今年5月に京都信用金庫のロビー展で飾った作品

歌声喫茶 10・11月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

10月 6日、20日

11月 3日、17日

楽々亭第25回10月の予定

10月11日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時~12時

ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。